

大森第五小学校 学校づくりNews Letter vol.2

新たな学校のコンセプトづくりに向けて、ワークショップやアンケートを実施しました。ワークショップでは参加者同士が、学校をより良いものにしようという共通の目標をもち、自由に活発な意見交換ができました。またアンケートでは、幅広い方々からの意見を集めることができました。

第1回ワークショップレポート ワークショップを開催しました！

※ワークショップとは：数グループに分かれて議論を行うことで、参加者が気軽に発言できる環境をつくり、様々な関係者の意見を幅広く集めます。

ワーク①：学校の良いところ・直したいところ、ワーク②新しい大五小はこんな学校にしたい

【令和7年6月23日（月）地域・保護者ワークショップ @ 大森第五小学校集会室】

3つのグループに分かれ、2つのテーマについて意見交換を行いました。グループワーク・発表共にとても盛り上がり、「新しい学校をより良くしたい！」という共通の想いを再認識することができ、今後の学校づくりに向け大変有意義な会となりました。



～新たな大五小のキーワード～

- OA グループ
「**地域と自然と共生する大五小**」
- OB グループ
「**緑あふれる都会（わたしたち）のふるさと**」
- OC グループ
「**みんなが楽しく歩いて通える学校**」「**町の人達の目標になれるような学校**」「**先生と生徒がいつも笑顔で遊んで学べる学校**」

● 主な意見

ワーク①

- 【良いところ】
 - ・自然がすぐそばにある
 - ・縦割り班活動、アットホーム
- 【直したいところ】
 - ・グラウンドが狭い
 - ・体育館を2階にしてほしい
 - ・トイレが暗い、汚い
 - ・屋上利用が少ない

ワーク②

- 【新しい大五小】
 - ・広いグラウンドがほしい
 - ・全学年が集える場所づくり
 - ・寂しくない場所がほしい
 - ・地域の施設を有効活用
 - ・地域に開かれた学校
 - ・防災活動の拠点
 - ・地域のプールを利用する

【令和7年7月1日（火）児童ワークショップ @ 大森第五小学校体育館】

1・2時間目の授業時間に5年生が7つのグループに分かれて行いました。自由な発想でどんどんアイディアを出して、グループごとにまとめた意見を発表してくれました。皆が真剣に、大五小のことを考えて楽しそうに取り組んでくれました。



● 主な意見

ワーク①

- 【良いところ】
 - ・自然を感じる、蝶がいっぱい
 - ・図書室が広くて本が多い
- 【直したいところ】
 - ・グラウンドを広くしてほしい
 - ・プールに虫、屋根をつけて

ワーク②

- 【新しい大五小】
 - ・落ち着ける場所が欲しい
 - ・ごろごろできる場所
 - ・自然のイメージを残したい
 - ・他の学年と交流
 - ・広いグラウンド、廊下、図書室がほしい



※NewsLetter（データ版）やワークショップで出た意見のまとめ、詳しいアンケート結果をご覧になりたい方は、こちらからご覧いただけます。

https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/gakukyou/shisetsu_kaichiku/oomoridaigo-shou_kaichiku.html



アンケート結果について

300を超えるご意見を頂きました！
ご協力ありがとうございました！

学校内、学区内特別出張所、みどりの縁側、掲示板及びホームページ等を介して、大森第五小学校の改築に関するアンケートを実施いたしました。児童・教職員・保護者・地域の方々から計300を超える多くの回答を頂きました。頂いたご意見は、今後の学校づくりの参考にしていきます。アンケートの回答も、基本的にはワークショップで出された意見と同様の内容が多く見られました。



「ちょうか」



「あおむ」

第2回改築懇談会レポート

令和7年7/30（水）に、主に以下の議題について委員の皆様と意見交換を行いました！

● 主な議題

- ・ワークショップ、アンケート結果について
- ・学校づくりコンセプトと施設整備方針について
- ・改築範囲と整備対象機能の検討状況について
- ・学校記念品について

● 学校づくりコンセプト・施設整備方針（案）を提示しました

上位計画に加えワークショップやアンケートの結果を踏まえて、新たな学校づくりの目標となるコンセプト・施設整備方針（案）を作成し、提案しました。

コンセプト（案）：

「**学びがひろがり、地域とともに成長する みんなのふるさと大五小**」

施設整備方針（案）：

1. 活発な子どもたちの学びを実現する**活動と安らぎの場**
2. 豊かな自然環境を活かした心地よい生活を送れる**快適な場**
3. 学年を越えて学校からまちへと広がる**交流の場**
4. いつでもみんなが頼れる**安心と思い出の場**

● 改築範囲と整備対象機能の検討状況

既存建物をどこまで建替えるか（改築範囲）について、3つのパターンを比較し提示しました。
パターンA：既存利用なし[全面建替え]
パターンB：体育館のみ既存利用
パターンC：体育館・プール既存利用[校舎のみ建替え]

● 学校記念品の調査結果を共有しました

今後、保存要望等をヒアリングしながら保存方法も含め検討していきます。



● 主な報告内容・意見

（コンセプト・施設整備方針について）

- ・「学びがひろがり、地域とともに…」とあるが、地域と関わるという学校教育以外の部分も大事なことです
- ・様々な場所の選択肢が運営側にあるということが余裕にもつながる
- ・誰もが選択できる場所づくりを今後ハード面含めて検討頂きたい

（改築範囲について）

- ・グラウンドが広がるパターンAが良いと思うが、グラウンドの目標面積は全体の計画の中でバランスをみて決めていく必要がある
- ・パターンAの場合は体育館が2階にできるが、バリアフリーに配慮したアプローチは検討が必要

（整備対象機能について）

- ・パターンA,Bの場合、プールはグラウンド面積を確保するため屋上に新設するか、平和島公園プールを利用することになる

（学校記念品について）

- ・敷地内の樹木は記念樹などの表示がないため、そのような情報があれば教えて頂きたい